

家畜衛生広報いいだ

長野県飯田家畜保健衛生所
飯伊家畜産物衛生指導協会
TEL : 0265-53-0439, 0440
FAX : 0265-53-0441
E-mail : iidakachiku@pref.nagano.lg.jp
http://www.pref.nagano.lg.jp/iidakachiku/

R2(2020).7.21 発行 2020_No.6

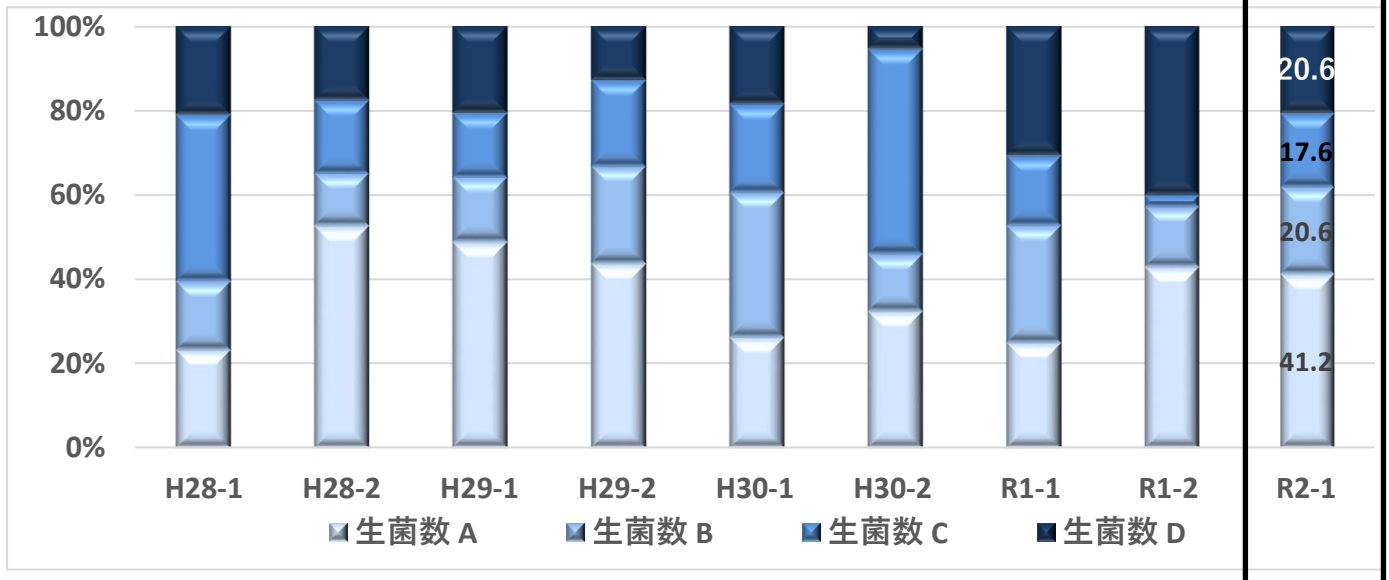
酪農生産性向上対策事業による

令和2年度 第1回 **バルク乳検査**の集計結果をお知らせします。

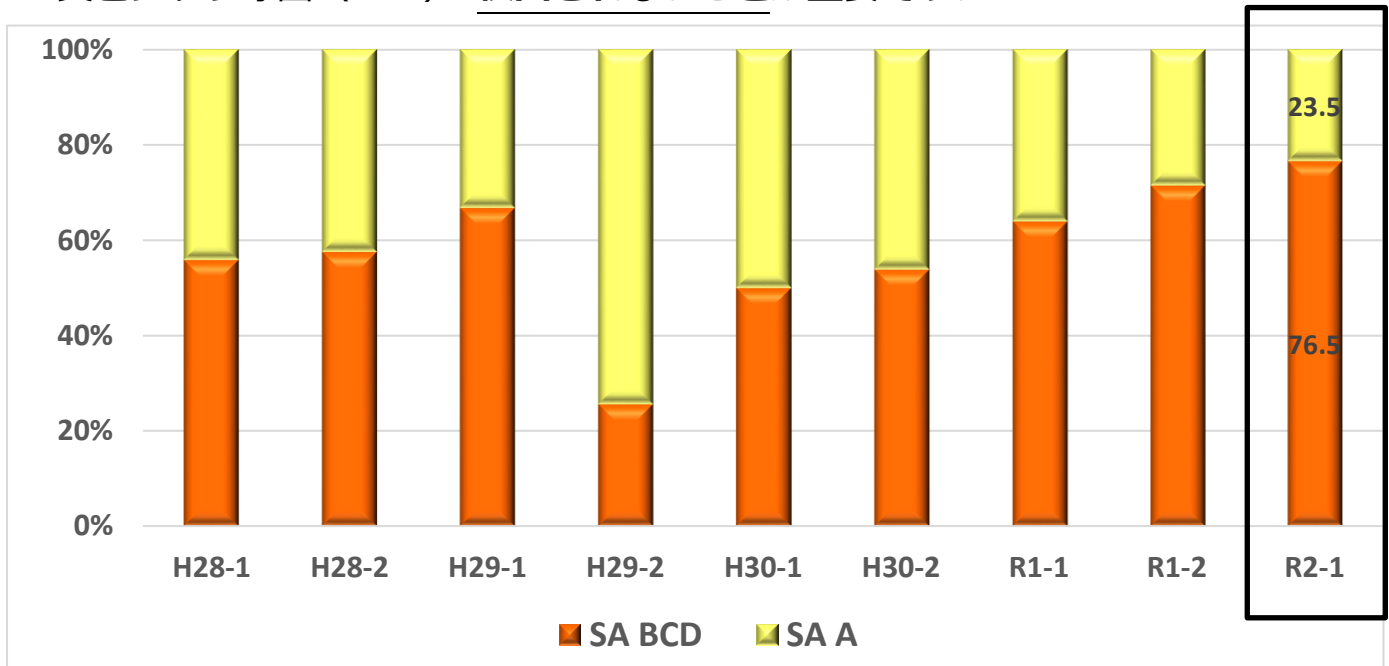
- 評価
A : 正常/目標 B : やや多い C : 多い D : 非常に多い
- グラフ
管内検査戸数 (34 戸) のうち A~D 評価の戸数の割合 (%)



★生菌数：搾乳衛生全体の評価指標となります。



★黄色ブドウ球菌 (SA) : 検出されないことが重要です。



今回 SA が検出された農場が全体の約 **76.5%** (令和元年県内平均 52.1%) と過去 5 年間で最も高い割合でした。

乳質、乳量の慢性的な低下が懸念されます。



黄色ブドウ球菌 (SA) による乳房炎

- ・ 伝染性 (乳汁を介して他の個体や分房へ感染する)
- ・ 膿瘍を形成し慢性化すると抗生剤の効果が低い (感染初期の治療が重要)
- ・ 伝染するので牛群中の慢性乳房炎牛の増加につながる

防除対策

- ・ SA 感染牛、感染分房の特定
- ・ 搾乳順序の変更・・・感染牛は最後に搾乳
- ・ ポストディッピングの確実な実施
- ・ 初乳の細菌検査実施による早期発見、早期対応
- ・ 外部導入牛の乳汁細菌検査の実施
- ・ 定期的な搾乳機器のメンテナンス
- ・ 過搾乳の防止 (乳頭口を傷つけない)



乳頭口
の糜爛

大腸菌群が検出された農場は全体の約 **64.7%** でした。

昨年度 (69.4%) と比較してやや減少しましたが県内平均 (昨年度 43.6%) よりも高い傾向です。

☆大腸菌群が検出される場合、多くは汚染された牛体や乳房・乳頭、あるいは敷料から搾乳中に糞便などを吸引した場合や搾乳機器の洗浄殺菌に問題がある事例です。

☆菌数の多い農場は、搾乳手技や搾乳機器の他、牛体、乳房、敷料を常に清潔に保つなど搾乳環境の衛生管理を実践しましょう。

乳量 30kg/日の乳牛が乳房炎になった場合の損失
 $30\text{kg} \times 103.2 \text{円} = 3,096 \text{円}$
+ (2020.5 全国平均生乳価格)
1日の餌代: 1,100円 (2014年度中央酪農会議資料)
4,196円/日 + 治療費

搾乳衛生・管理等のご相談はお気軽に!
連絡先 飯田家畜保健衛生所 保健衛生課
Tel 0265-53-0440 Fax 0265-53-0441

